

第2回羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会

議事概要

日時：平成25年11月6日 16:00～18:00

場所：合同庁舎3号館4階特別会議室

委員からの主なご指摘：

【石見空港】

- ・増便後の目標に達成する前のリスク分担についてどう考えているのか。
- ・島根県立大学と連携した取組について、今後どのように活かしていくのか。
- ・1便から2便にすることでどのように利用者数を増やしていくのか、具体的な取組について教えて欲しい。
- ・個人観光客への取組については、単に2便化しただけでは足りず、しっかり頑張っていく必要があると考えるが、全体の推進体制の中でどこがその役割を担うのか。
- ・観光への取組以外に、企業誘致へのインセンティブはあるのか。

【佐賀空港】

- ・佐賀空港利用者の潜在需要について、地元側に重きを置いているように思えるが、首都圏における潜在需要についてどう考えているのか。なぜ福岡空港や長崎空港ではなく、佐賀空港を選択して貰えると考えるのか。
- ・観光客増加に向けた具体的なプランをどう考えているのか。
- ・様々な要素に対して取り組んでいると思うが、ビジネス・観光利用をそれぞれどの程度見込んでいるのか。
- ・福岡空港からシフトする旅客を主に想定しているのか、それとも純増することを考えているのか。

【鳥取空港】

- ・県内の他の重要施策と連携した施策というのは面白い取組であり、ぜひ頑張ってもらいたい。利用者、航空会社の双方に対して様々な支援を行っていくものと思うが、施策のサステナビリティについてどう考えているのか。
- ・国際リゾート、世界へのゲートウェイというフレーズもあるが、鳥取空港の商圈にあるホテル等にはどの程度の収容力があるのか。
- ・閑散期対策が重要になってくると思うが、閑散期対策を底上げしていく考えはあるか。
- ・但馬地域からの旅客の増加について、具体的にどのような取組みを考えているのか。

【山形空港】

- ・航空会社と収支を共有する形のリスク軽減策については、逆インセンティブが働くことはないのか。
- ・2便化することにより主にメリットがあるのはビジネス利用だと思うが、ビジネス客と観光客ではどちらを重視するのか。ビジネス客をターゲットとするのであれば、そこに特化したアイデアがもっとあると一層効果的ではないか。
- ・外国人旅行客の誘致に向けた県内施設と連携した取組みについて、価格訴求力の観点以外に、利用者増に繋がる仕組みは考えているか。
- ・増便によりどのような旅客が増えると考えているか。新幹線からの移行なのか、新規需要の創出を考えているのか。
- ・乗り継ぎ客の取り込みについては国際線乗り継ぎも想定しているのか。

以上